

独立行政法人農畜産業振興機構の平成18事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成18年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、任期満了等に伴う交替以外の役員人事は行わなかった。
----------	--

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	18事業年度評価における主な指摘事項	平成19及び20年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	○ 「機能的で効率的な組織体制の整備」については、新たな砂糖・でん粉制度の円滑な実施を図るため、プロジェクトチーム（PT）を継承・強化する形で、「新制度準備推進本部」及びこの下に「新制度準備室」を設置し、7月にスタッフ職の併任を行なうとともに、12月1日付けで鹿児島事務所開設準備室を設置した。より効果的・効率的な組織・業務運営に取り組んでいるところであるが、今後更に、地方出先機関の見直しについて検討されたい。	<p>【19年度】</p> <p>○ 新たな砂糖・でん粉制度を円滑に実施するために、平成19年4月に鹿児島事務所開設準備室を鹿児島分室に変更した。 また、独立行政法人整理合理化計画（平成19年12月24日閣議決定）等を踏まえて、業務の電算処理システム化の推進により、平成20年1月に地方事務所及び出張所を10から3に再編合理化した。</p> <p>【20年度】</p> <p>○ 札幌、鹿児島及び那覇の各事務所については、業務実績等を踏まえ、その在り方について検討することとしている。</p>

* 指摘は農林水産省独立行政法人評価委員会による。